

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス びいすなるみ		公表日		令和 8年 3月 25日	
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	3	・支援室を広く使用できるように、棚や机の配置を工夫している ・室内、室外に分けて、活動を組んでいる	・10人定員に対し、少し狭いように感じる ・収納場所が狭く、相談室が物置になってしまう ・制作の道具や玩具が収まらない	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	1	・障がいの特性に合わせ、必要に応じて規定以上の職員配置をし、個別サポートが必要な児童や他害行為のある児童に対してはマンツーマン対応をしている	・数か所同時刻の学校迎えになるため、送迎スタッフの確保が必要 ・個別サポートが必要な児童が多い日や、パニック、痙攣、てんかん発作が起きたときの対応で、人員不足を感じることもある ・障がいに対する知識と支援力、スキル向上も必要		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・必要に応じて、パーテーションを利用している ・学習机を壁側に向けて配置し、集中して取り組める空間づくりを行っている ・絵カードやタイマー等を使用している	・トイレが室外にあり、死角になってしまう ・トイレが1か所しかないため、順番待ちが発生してしまう		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7	1	・オゾン発生装置、空気清浄機を設置 ・来所時、終了時の喚起、清掃、アルコール除菌等欠かさず行っている ・玩具をしまう部屋を作り、支援室を広く過ごしやすい空間にして活動している	・少学1年生～高校3年生を対象としているため、年齢幅が広く、すみわけの仕方に工夫が必要		
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	1	3	・着替え、体調不良、不穏時、個別のビジョントレーニング、個別課題等、状況に合わせて個室で対応している			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	2	・個別支援計画をいつでも確認できるよう、周知している ・職員間で振り返りを行い、業務日報にその日の状況、気づき、ヒヤリハット等を記入している	・勤務状況により参画できないスタッフに対し、報連相の徹底を図る	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	3	・評価表の結果をスタッフ会議で報告し、必要な業務改善点について話し合いを行っている	・ご意見に対し、改善できる点と構造的に不可能な点がある	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	1	・毎月一回スタッフ会議を開き、意見を出しあえる機会を設けている	・誰もが意見や気づき、思いなどを遠慮なく伝えられる関係を構築する	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	1	7		・外部評価は行っていません	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	2	・(株)びいすで、社員研修を行っている(年3回) ・事業所内で様々な研修を行っている(月1回) ・自立支援協議会主催の研修に積極的に参加している(随時)	・研修で身に付けたことが実践に繋がるよう、支援に対する意識改革も同時に必要	
11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	3	・(株)びいすのHPに掲載している	・全スタッフが支援プログラムを理解し、支援の質の向上に努める		
12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	3	・契約時にアセスメントを行っている ・保護者の意向、困りごとの他、相談員からの情報なども参考にしながら計画を作成している			
13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	2	・支援会議を月に1度行い、課題について検討、見直しを行っている			
14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	2	・支援計画をファイルにまとめ、全スタッフが支援計画を確認できるようにしている			
15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2	・日々の行動、気づきなどを業務日報に記録し、全スタッフが確認できるようにしている	・現在使用しているアセスメントシートが十分に補えているものかどうか、見直し改善していく		
16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	3	・「本人支援」を5領域の視点から分析し、支援内容を設定している ・一人一人の特性や能力を見極めながら、スモールステップから成長に繋げていけるよう設定している	・「家族支援」「移行支援」「地域支援」についても計画が具体的に遂行していけるよう、家庭や各関係機関との連携を大事に取り組んでいきたい ・ただし、「家族支援」は保護者の考え、プライバシーの保護などの観点から、どこまで踏み込んで対応すべきかが課題である		

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	2	・スタッフからの提案やSNSなどを活用しながら、正社員が話し合いを行い、決定したものをスタッフに周知、実行している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	1	・四季のイベントを必ず取り入れている ・曜日ごとに活動内容が重ならないよう工夫し、全ての児童が様々な経験が出来るようにしている	・日々様々な活動を組んでいるが、スタッフの配置状況、児童の特性、マンツーマン対応等により、活動の幅に制限がかかることがある
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8	0	・学年、障がい特性、ニーズ、成長具合等を考慮しながら個別活動、小人数、大人数の集団活動など活動内容を考え、支援を行っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0	・担当職員が中心となって役割分担を決めている ・昼礼時にその日の活動内容、担当、注意点などを各スタッフに伝え、動きを確認している	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	2	・できるかぎり振り返りを行い、共有すべき情報は業務日報に必ず記録をしている ・出勤後、必ず業務日報の記録を確認し支援に入るようにしている	・勤務状況によっては記録を確認する時間が取れなかったりすることがあるため、重要なことは口頭でも伝えるようにしていく ・報連相の重要性を、全スタッフが意識する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0	・業務日報に、個々の様子、支援についての気づき、ヒヤリハット、トラブル等を記録している ・支援の注意点、支援方法なども記録し、支援の統一を図っている	・支援の検証、改善案が次の支援に活かされるよう、同じことの繰り返しにならないようにしていく
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	2	・半年ごとにモニタリングを行い、事業所での様子や課題等をお伝えするとともに、家での様子や課題、困りごとなどについて確認を行っている ・個別支援会議を行い、半年ごとに見直し、更新を行っている	・事業所都合や保護者の勤務状況、家庭事情等により、面談という形式でのモニタリングが行えていないため、できる限り面談の機会を作っていく
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7	1	・「自立支援、日常生活の充実」「創作活動」「地域交流」「余暇」この基本に沿って、活動内容が偏らないよう、様々な活動を取り入れている	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8	0	・「選択」が難しい児童に対しては、2択や写真等を使うなどし、意思の尊重を大切にしている ・場面場面、個々の能力において、選択する力を身に付けていけるよう支援している	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	3		・今年度はサービス担当者会議の機会がなかった ・児発管だけでなく、直接的支援を担当する職員が参画できるようにしていく
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		・地域の保健、医療、保育との関係性は少ない ・学校教育との連携は必要になることがあると思われるので、連携できるよう体制を整えていく
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8	0	・行事や下校時間等の確認については、主に保護者を通じて情報共有している ・保護者との情報共有が困難な児童については、学校と連携を図っている	・送迎時に学校での様子を聞き、情報共有を行っているが、トワイライトやスクールバスを利用している児童については学校の様子を知ることができないため、積極的に情報共有する機会を作る
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	6	・保護者との面談で就学前の状態を確認している	・学年が上がってからの契約が多く、就学前の情報は保護者からのみとなっている ・保護者の意向を確認し、必要に応じて情報共有に努める
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	6	・対象の児童がいる場合は、卒業後の移行先を把握し、情報提供を行う	・現段階では対象の児童がおらず行っておりませんが、必要である場合は保護者の意向を確認し、積極的に情報提供する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	4	4		・現段階では行っていないが、来年度中に「強度行動障害者支援事業」を通じて、助言やアドバイスを受ける予定
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8	0	・地域の公園や、プレパーク、児童館等に出掛け、交流する機会を設けている	・児童館や公園で地域の児童と交流した際のトラブル発生時の対応
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	5	・自立支援協議会、児童部会、主催の研修等へ参加している	・時間調整ができず、参加したい部会に参加できないことがあった ・スタッフに研修や部会等の周知を行い、積極的に参加できるように体制を整えていく
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0	・連絡帳にてその日の様子をお伝えする他、送迎時にも様子をお伝えしている ・電話やLINE、面談等、個々の状況に合わせて相談に応じしている	・相談員や他事業所との連携も密に取りながら、必要に応じてサービス担当者会議等の依頼も行っていく
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	6		・ペアレント・トレーニングは行っていない ・ペアレント等の情報を収集し、研修の機会があれば、保護者に情報提供を行っていく
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	2	・契約時に説明をする際、丁寧に分かりやすくお伝えすることを心がけて対応している ・必要時には文面にフリガナをつけて、理解して頂けるよう対応している	・日本語が通じにくい場合に、説明がうまく伝えられないことがある	

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	2	・個別相談、契約時のアセスメント、モニタリング等で利用者・保護者の意向を確認している	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	3	・半年に一度、見直し更新の際に支援計画の内容をお伝えし同意を得ている	・支援内容の説明をする際に、十分な時間が確保できず、簡潔した説明になってしまうことが多い
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	1	・相談を受けたときは、個別に面談、電話、LINE等でその時の状況に合わせて対応している ・保護者のお気持ちに寄り添い、アドバイスをしている	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	1	7	・父母の会等の活動については、協力の依頼があった場合は、できる範囲で対応させていただいている	・保護者会やきょうだい同士の交流については、開催に向けて前向きに検討していきたいところだが、共働きされているご家庭が多く、また事業所の立地的問題もあり現実的に開催が難しい状況である
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	2	・現在、苦情をいただくことはないが、苦情があった場合は迅速丁寧に対応する	・不信感に繋がることのないよう、保護者との信頼関係を大切にしておく
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0	・びいすなるみだよりを作成し配布している ・インスタを活用し、活動の様子をアップしている ・毎月月初めに月ごとの活動表を作成し配布している	・毎月1回（株）びいすのインスタに全体の活動としてアップはしているが、事業所単体のインスタの更新はできていない ・びいすなるみだよりは年4回配布予定だったが、定期的に配布することができなかった
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0	・鍵付き書庫に個人ファイルを保管している ・SNS等への写真掲載についての同意を得ている	・書類を配布する際の入れ間違いや入れ忘れがある ・荷物の入れ間違いがある ・二重チェックをするなどし、入れ間違いが起きないように十分に注意する
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0	・口頭指示だけでなく、必要に応じて絵カード等を使って対応している	・ご家庭の環境や事情によって、連絡が取りにくい状況がある
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	7	・近隣の方へのあいさつは日頃から大切にしている ・買い物体験等で、近隣のお店を利用している	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	4	・各マニュアルに沿って、事業所内研修、訓練を行っている（毎月1回）	・各マニュアルについて家族への周知はできていない ・マニュアルがスムーズに活用できるよう、実際に起こった時を想定しながら研修を行う
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	2	・業務継続計画（BCP）の策定は行っている ・毎月1回、火災や地震等さまざまな場面を想定した避難訓練を行っている	・実際に災害が起きた際に慌てずスムーズに行動できるよう、見直し、改善も必要
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	8	0	・保護者から情報を得て、適切に対応している	・てんかん発作に対し、対応できるスタッフが固定している ・全スタッフが冷静に対応できるよう、対応方法を定期的に確認、研修も行っていく
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	3	・契約時のアセスメント、聞き取りにて情報を得ている ・服薬が必要な時は、投薬依頼書を提出していただいている	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	5	・（株）びいすとして安全計画の策定を行っている	・（株）びいす全体での安全計画策定、研修は行っているが、事業所として全スタッフが周知と研修、訓練、見直し、改善に取り組む必要がある
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	5		・ご家族に周知はできていない ・災害時や緊急避難が必要な場合の保護者との連携、連絡方法等、しっかりと検討し取り決めたことを周知することが必要
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0	・振り返りを行い、業務日報に記録をしている ・スタッフ会議の議題として、ヒヤリハットに対する再発防止策について話し合いを行っている	・ヒヤリハットについて話し合った再発防止策が、実践として活かされず、同じことを繰り返してしまうことがある（スタッフの意識改革必要）
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0	・スタッフ会議の中で研修を行っている ・自立支援協議会が主催する研修に参加している	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	4	・契約時に、身体拘束について（やむ負えない場合についても）説明をしている ・個別支援計画書に記載し、保護者に了承を得ている	・こういった行為が身体拘束にあたるのかの理解と認識を定期的に再確認する